



<無償資金協力>

防災や保健の情報提供サービスを向上させる

フィジー
中波ラジオ放送復旧計画

コンサルティング：八千代エンジニアリング(株)

機 材 調 達：南洋貿易(株)／電気興業(株)／日本電気(株)

フィジーは南太平洋に位置する島嶼国だ。広範な海域に点在する330以上の島々に国民が居住しているため、通信や交通が不便で、災害情報が伝わりにくく、緊急支援などの公共サービスも届きにくい状況にある。ほとんどの島は面積が狭小で標高が低く、自然災害に対して脆弱だ。気候変動による海面上昇、集中豪雨、サイクロンの大型化などによって家屋やインフラが被害を受ける脅威は、年々大きくなっている。

災害時の住民への情報提供や復興時の情報伝達には、中波ラジオ

放送が有効となる。だが、同国唯一の放送局であるフィジー放送会社（FBC）が管理する中波ラジオ放送システムは、施設や機材が老朽化し、自己資金では更新が困難な状態であった。中波ラジオ放送が情報を入手する唯一の手段となっている離島も多く、一刻も早い整備が望まれていた。

本件で調達された主な機材は、中波アンテナシステム(60m、傘型、2波共用)、送信機1(558kHz)、送信機2(990kHz)などである。アンテナの設置工事、送信機建屋の新築、送信機材の据え付

けなどを行い、上記2波の周波数から、中波ラジオ放送を行うことができるようになった。これで同国のほぼ全土で安定した中波ラジオ放送を受信することが可能になった。

これまで受信が困難であった10万人が住む離島でも安定して受信できるようになり、音質の歪みや年100時間ほどあった放送の中断も解消された。これにより、防災、教育、保健、農業など日常生活に欠かせない情報サービスが全国民に安定的に配信されるようになった。